

## クローズアップユニオン

北 労 生

# 北海道中央バス労働組合

(〒060-0041 札幌市中央区大通東1丁目3番地 TEL011-221-0460)

北海道中央バス労働組合（執行委員長 波方政志）は、道内バス事業の戦時大統合（昭和18年）により北海道中央乗合自動車(株)が設立されてから3年後、昭和21年に、現在の組合の前身となる北海道乗合自動車(株)従業員組合として結成されました。昭和28年、北海道労働運動史に残る11日間に及ぶ労働争議が惹起し、それまで共に歩んできた組合員はスト推進派と反対派に分断。その後、反対派が中心となり、自由にして民主的労働運動を目指す新たな組織として、昭和28年10月に北海道中央バス従業員組合を結成。18年間に及ぶ2組合時代を経て、55年の歴史を積み重ねながら現在に至っております。

北海道中央バス(株)は、札幌を中心に道央圏のバス輸送を手掛け、市内線、郊外線、また、札幌市と各地方都市を結ぶ都市間高速バス、さらには観光貸切バス、定期観光バスを運行しており、組合はそこに従事する約1,600名の労働者が結集して構成、札幌市中央区にある本部事務所を中心に、地方拠点として小樽・札幌・空知（滝川）に支部を設置し、日々の活動を行っております。

主な取り組みとして、組合員の労働条件・生活の向上に向けての運動はもとより、産別組合では交通労連に加盟をし、規制緩和によって疲弊・衰退するバス産業の環境改善に取り組むほか、バス事業が抱える諸問題に対処すべく、また、都市の重要なインフラである公共交通としてのバスを維持・発展させるため、行政に対して様々な政策要請活動を精力的に行っております。